医療と看護発祥の地　再生神話の里

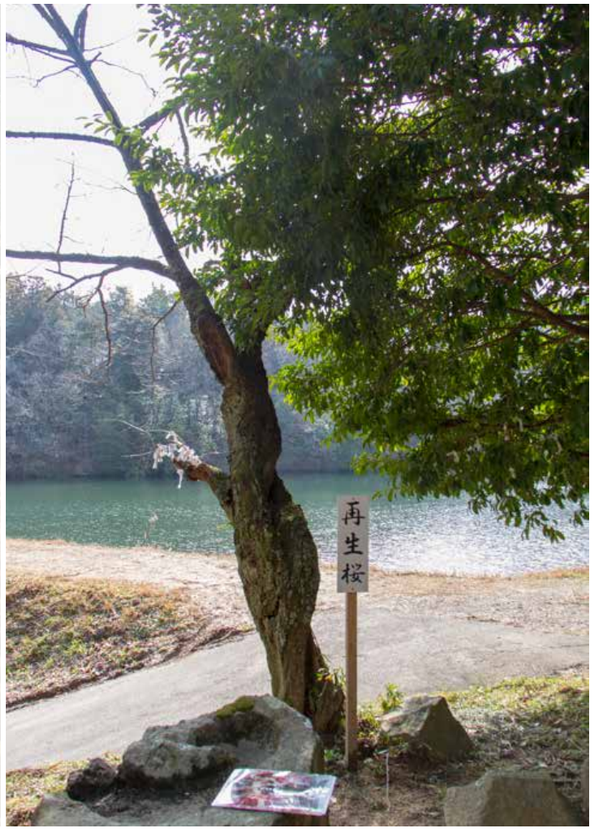
鳥取県西伯郡 南 部 町

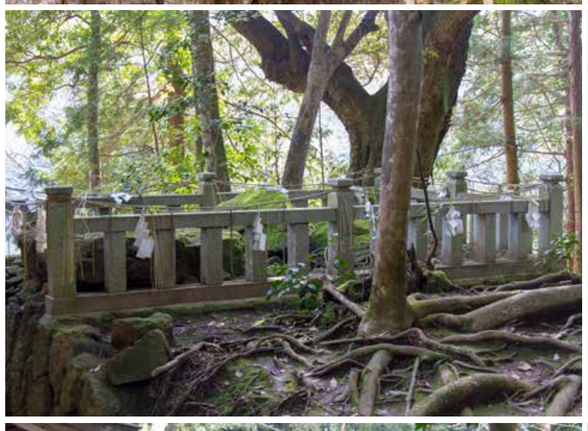
2018.2.16

一般財団法人
人間自然科学研究所

赤猪岩神社
大国主が命を落とし、母の愛と二人の女神の力で生き返ったとされる「再生」の神社

医療と看護発祥の地　鳥取県西伯郡南部町　2018. 2. 16





封印されている赤猪岩

神社境内の社の裏手には、「大国主命が抱いて落命した」と言い伝えられている岩が封印されています。

この岩は、地上にあって二度と掘り返されることがないように土中深く埋められ、大石で幾重にも蓋がされ、その周りには柵が巡らされ、しめなわが張られています。

これは、「厄の元凶」に対する注意を、子々孫々まで忘れてはならないことを教えています。

「受難」「再生」「次なる発展への出立」の地として、「再起」にご加護を願い赤猪岩神社を訪れる人は、数多であったと伝えられています。

大國主神は、素戔嗚命六世の孫とも、御子なりとも云い伝う。
素戔嗚命は、須佐之男命、建速須佐之男命とも云う。
刺國若姫命は、大國主神の母神。
稲田姫は、櫛名田比売とも云い須佐之男命に嫁すともある。

○清水井

大國主神の療養に際し両比売の用ひし水は、当社より西へ約4町隔たった清水川地区に現存し、蚶貝蛤貝の清水と称して泉々として湧き出る水なり。

赤猪岩神社　宮司　山本侑宏

医療と看護発祥の地　鳥取県西伯郡南部町　2018. 2. 16

赤猪岩神社縁起　（南部町寺内鎮座）

祭神　大國主神　素戔嗚命　刺國若姫命　稲田姫命

当社の創立年代は不明ですが、今より千参百年ほど前の和銅五年正月、西暦七一二年に編纂せられた古事記に依りますと、此の神賢明、仁慈を好み給われ、『初め兄弟八十神あり、大國主神（大黒様）と共に、因幡の國の八上比売を訪問し給ふ途に、裸兎あり八十神謀りて之を苦しむ、大國主神見て之を憐れみ為に療法を教へ給ふに兎喜びて謝し曰く、「八上比売は八十神の言とば聞き給はずして君こそ姫を得給ふべきなれ」と、八上比売の許に至るに果して其言の如し、於是八上比売　八十神に答へけらく「吾は汝等の言は聞かじ。大穴牟遅神（大國主神）に嫁はな」と言う。故爾に八十神怒りて、大穴牟遅神を殺さむと共謀りて、伯伎（伯耆）國の手間の山本（ふもと）に至りて云ひけるは「此の山に赤猪在るなり。故和礼共に追ひ下りなば、汝待ち取れ。若し待ち取らずば、必ず汝を殺さむ」と云ひて猪に似たる大石を火以て焼きて転ばし落しき。爾追ひ下り取る時に、其の石に焼き著かえて死せ給ひき。爾に其の御祖命（母神、刺國若姫命）哭き患ひて天に参上りて、神産巣日之命（生成の神）に請し給ふ時に、及ち蚶貝比売（あかがい）と蛤貝比売（はまぐり）とを遣せて、作り（治療）活さしめ給ふ。爾蚶貝比売　岐佐宜集めて（けづり焼）、蛤貝比売　清水を持ちて、母の乳汁と塗りしかば、麗しき壮夫に成りて出で遊行きき』と古事記にありまして、此の手間山は大國主神の御遭難地である為に、ここにお祀りして御神徳を称えたものであります。大國主神は出雲、伯耆を根拠として専ら山陰、山陽、北陸までの国土を御経営になりましたが、大神の御神性は特に英明、温厚篤実仁慈博愛堅忍不撓の精神を発揮され幾多の辛酸をなめられつゝ国土の開発に終始せられたその広大な御神徳は後世の人々の敬慕し奉るところで此の神社の創立せられた所以もこゝにあるのであります。大神の焼きつかれし猪に似たる石は地上にあって之を穢すを恐れ土中に埋没せりと云い伝られ、明治四年無格社に列せられ大正六年久清神社を　又　大正九年に山頂の赤猪岩神社を合祀し、現在に至っています。

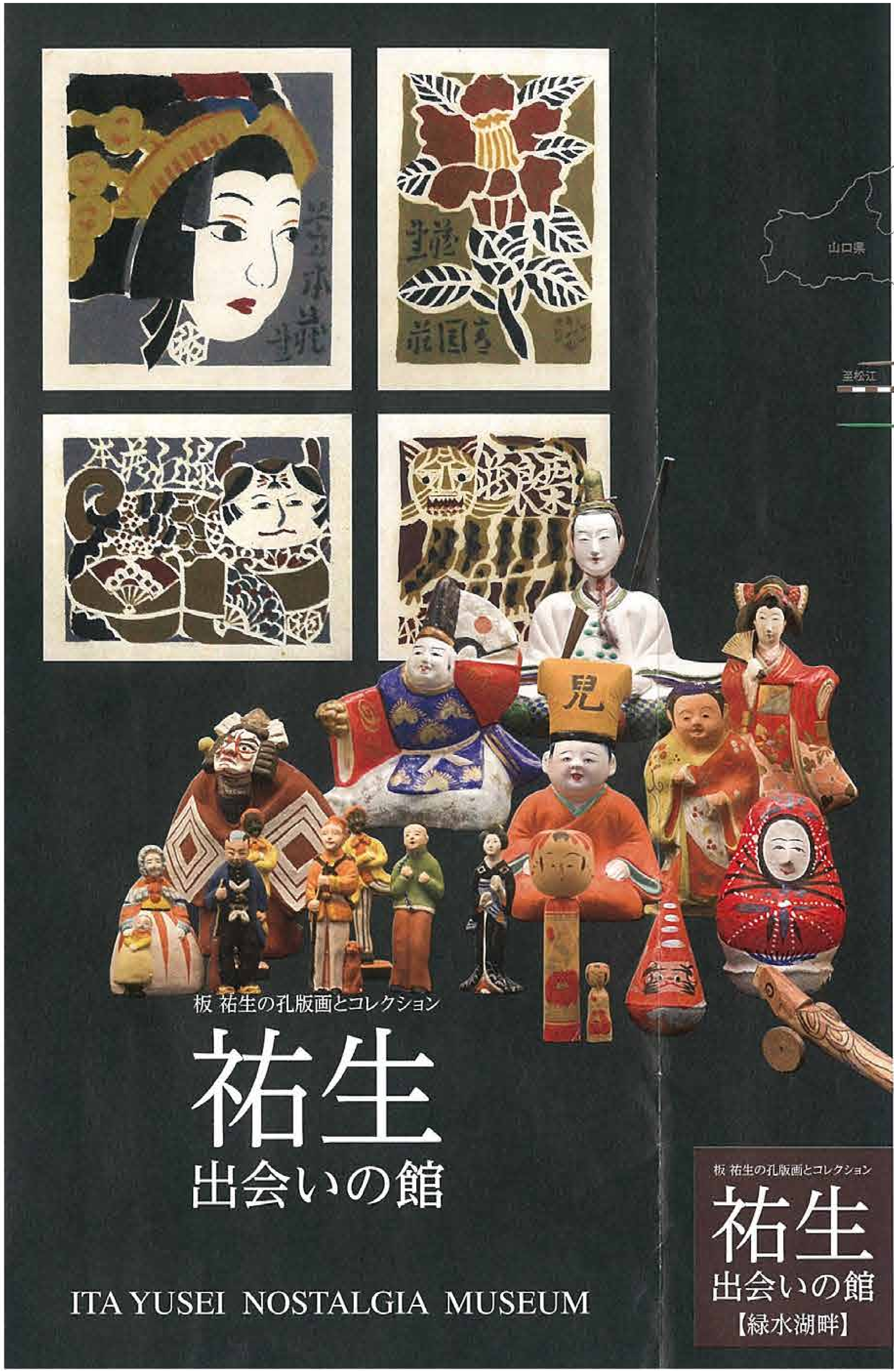
近年では　八十神により落命された、大國主神が、蚶貝比売・蛤貝比売の治療により蘇生されたことから、蘇生・再生・復興（昇運）の神様として知られて、関東　関西　九州方面から多数の参拝者があります。

例祭　春　四月五日　秋　十月五日

医療と看護発祥の地　鳥取県西伯郡南部町　2018. 2. 16

祐生出会いの館

孔版画家・玩具収集家の板祐生（いた・ゆうせい、1889-1956）の作品とコレクションを展示。
祐生は鳥取県西伯郡南部町で生れ、生涯をほとんど同地から離れることなく過ごしながら
謄写版刷りの個人誌『富士乃屋草紙』などで各地の文人と交流した。



医療と看護発祥の地　鳥取県西伯郡南部町　　2018. 2. 16

自家用車で
■大阪から約3時間／
中国自動車道（落合J.C.T.）→米子自動車道（米子I.C.）→
山陰道（米子西I.C.）→国道180号 南部町方面

公共交通機関
■JRで米子駅まで／新大阪から約3時間30分
（新幹線岡山乗換→伯備線やくも）
■米子駅から／バスで約40分
（日ノ丸バス上長田・大木屋行「緑水園前」下車）

	個　人	団　体
一　　般	300円	240円
高校・大学生	200円	160円
中学生以下	無　料	

※団体は15名以上

開館時間：9：00〜17：00
休 館 日：毎週火曜日
（祝日又は振替休日に当たる場合は開館し、翌日休館）
年末年始（12月29日〜1月4日）

ITA YUSEI NOSTALGIA MUSEUM
〒683-0343　鳥取県西伯郡南部町下中谷1008
Tel. Fax. 0859-66-4755　緑水湖畔
http://www.town.nanbu.tottori.jp/p/kyokai/tenji/

祐生出会いの館　検索

板　祐生（いた ゆうせい）（本名／板愈良　１８８９－１９５６）

１８８９年（明治22）９月24日、鳥取県西伯郡東長田村（現南部町）に生まれる。

高等小学校卒業と同時に15歳で代用教員となり、その後、検定試験によって正式教員となった。終戦後は教職を退き、役場で引揚げ者の世話をし、昭和30年には保育所長を勤めた。当時、一般に文字を印刷するのに用いられていたガリ版を利用し、孔版画作品を制作。独自の技法で色ごとの版を作り、多色刷り孔版画を創作。高い評価を受け、孔版画を芸術の領域にまで高めた先駆者とされている。

また、祐生のもうひとつの顔がコレクター。趣味人の会「我楽多宗」に参加し、郷土玩具をはじめ、ポスター、菓子のラベル、手拭いなど約４万点を蒐集し、現在では失われてしまったものが少くない。

生涯をかけて孔版画作品をつくり続け、１９５６年（昭和31）２月５日に、66歳で亡くなった。

私は、私の生活をかう こひねがつてゐる。
浮世絵の生活でありたい。
おもちや――童玩の生活でありたい。
版画の生活でありたい。
さうして 萌草のやうな生新さと、文楽なやうな古典味な しかもぐつとくだけたい、匂とをそれに盛りたい。

だが それは みんな淡くも消え散つて行く夢のねがひである。
しかし――――
私はそれ等の夢を来る日も来る日もおふてゐる。いつかはさうした心もちのとけ合つたなかに 生きれるものだと。さう私は思ひつづけてゐる。
俗塵は濛々として、さうした私の静かな夢をかき消して行く。今日もまた、今日もまた そんなことがくり返される。

（昭和10年刊「青駒」創刊号より）

コレクション

祐生の孔版画作品をうみだした源は、4万点にもおよぶコレクションにあります。その種類は、最も愛情を注いだ郷土玩具をはじめ、ポスター、うちわ、てぬぐい、駅弁の掛け紙、食品などのラベル、千代紙、マッチ箱、電車の乗車券などで、いずれも当時の生活を知ることができる貴重な資料といえます。

《ポスター》

大正期以降、時代の流れとともに古典的な題材から現代的な雰囲気のものへと移り、女性の衣装も着物から洋服へと変わっていきます。

祐生は、「ポスター」の持つ芸術性に目を向け、1,400枚にも及ぶコレクションがあります。

『三越呉服店大阪支店』大正6年（1917）

『赤玉ポートワイン』大正11年（1922）

《郷土玩具》

郷土の玩具を愛した祐生ですが、玩具がすたれることを予見し、その姿を写し取って孔版画に残しました。

《うちわ》

人々の生活において、「うちわ」は日常の用具でしたが、時として特別の意味を持つ場合があります。このため、涼を求めるとは別の意味でさまざまな絵柄が表現されていて、蒐集した「うちわ」に対する感動を私家本「柳もよう」で伝えています。

第5展示室では特別企画展を開催しています。

ミュージアム・ショップ／
絵葉書、カレンダー、しおりなど
オリジナルグッズを多数ご用意しています。

第3展示室／
祐生の孔版画作品の
世界を展示

第4展示室／
祐生のコレクションを
入れ替え展示

版画作品

米子三月土偶三番叟
（右は祐生の孔版画）

祐生は、当時一般に文字を印刷するのに用いられていたガリ版を使って孔版画作品を創作しました。事務用だったガリ版は、祐生の手にかかると芸術を生み出す道具になりました。祐生は、ヘラ状の鉄筆でやすりの目の特性を活かす『つぶし』の方法を用いていましたが、後には同じく原紙に描いた図柄を小刀で切り抜く『切り抜き』という独自の技法で色ごとの版を作り、その上から何度も何度も色を重ねて多色刷り孔版画作品を完成させました。版がろう原紙であるため、作品作りには苦労があり、印刷枚数も限られますが、他の版画にはない味わいがあります。祐生は蒐集した郷土玩具を忠実に模写し、私家本（個人誌）を次々に編集発行して紹介に努めました。

《蔵書票》

蔵書票とは、自分の蔵書に所有を表すために見返しに貼る小票のことです。票主の名前だけでなく、これに多彩な「絵」や「模様」などを盛り込むことによって、次第に小版画としての価値が与えられ、祐生独特の世界を築き上げました。孔版で蔵書票をつくることが長年の夢であり、昭和24年に「板祐生孔版蔵書票の会」が出来ました。

《私家本（個人誌）》

全国の仲間から贈られた郷土玩具をはじめ、蒐集品への愛情や郷土への想いなどを美しい孔版画にして表現した祐生オリジナルの本の数々は見る者に感動を与えます。

展示室のご案内

第1展示室／祐生の生涯を写真と年譜で紹介

第2展示室／祐生が蒐集した全国の郷土玩具を一堂に展示

医療と看護発祥の地　鳥取県西伯郡南部町　2018. 2. 16

母塚山　はつかさん

赤猪岩神社から車で約 15 分の位置に母塚山があります。
母塚山は、イザナミの御陵であったという説がありますが、それも納得できるほど
山頂から見る大山そして弓ヶ浜半島の眺望は素晴らしく、「山陰一の絶景」との声もあるほどです。

母神の眠る山

赤猪岩神社

一般財団法人
人間自然科学研究所
http://www.hns.gr.jp/

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188
TEL : 050-3161-2490　　FAX : 050-3161-3846

無断転載禁止
No reproduction or republication without written permission.

ver.20180216 y.kobayashi